

やくばしょくいん しばたまち しょう ちゅうがくせい みな
 役場職員から柴田町の小・中学生の皆さんへ
 ふくちょうちょう み と とし み
 副町長 水戸 敏見

「感染者の差別が起きないように」

さいきん に ゆーす まいにち しんがたころ なう いる す わーど みみ がっこう
 最近、ニュースで毎日「新型コロナウイルス」というワードを耳にする。学校の
 せんせい がかかると せきゅうこう に、こどもがかかると ぼごしゃかい おこな
 先生がかかると休校に、子どもがかかると保護者会が行われたりするそうだ。
 いちど かかってしまうと しゅうい 周囲からは つめ め み られるとも きいた。また、かんせんしゃ
 一度かかってしまうと周囲からは冷たい目で見られるとも聞いた。また、感染者が
 に ゆーす しんぶん おお と あ ようす み
 だとニュースや新聞などで大きく取り上げられる。その様子を見て、ぼくは「お
 かしいな」と感じるようになった。

なぜかという、いんふるえんざ と同じような かんせんしょう 感染症なのに、一度それにかか
 ると まわ から 差別を受けているような 気がするからだ。それは じんけんもんだい
 周りにから差別を受けているような気がするからだ。それは人権問題にもかか
 わるのではないか。つまり、メディアで大きく取り上げ、人々の間で 恐怖と不安
 をうむ。それをまた、メディアが取り上げるという 負のスパイラルが、日本をと
 りまいてるのではないか。感染しても 温かい目で見えてあげてほしいなと思
 う。 (福岡県筑后市・中学生)

ふくおかけん す ちゅうがくせい がっこうしんぶん よ ぶんしょう むね あつ
 福岡県に住む中学生が、学校新聞に寄せた文章です。胸が熱くなりました。
 いぎりす てれびに ゆーす ちりょう お きたく ひと きんりん かた たちが かい
 イギリスのテレビニュースで、治療を終え帰宅する人を、近隣の方たちが「お帰
 りなさい」と 暖かく 出迎える 様子が 伝えられていました。「ウイルス感染症に罹
 った人が悪いんじゃない。忌避すべきはウイルスなんだ」ということを 心に 刻ま
 なければ と思ひます。これだけの 厄災です。いつ 身近に 感染者が 発生してもしか
 たありません。でも 多くは、本人には 何の 落ち度も ないは
 ずです。みんなで、社会で、状況を 受け入れ、そして 手
 助けを しながら 感染症の 収束を 待つ。それ以外、手立
 てはありません。「正しく 恐れる」ということは 難しいこ
 とです。「わからない」ことを むやみに 恐れたり、ごまかし
 て 安心しよう とすることこそ、一番 危険な ことだと 知るべ
 きです。学習する しかないのだ と思ひます。コロナウイルスとは どのような 性質の
 もの ひと、しゃかい、どんな 影響を受けざるを えないのか。どうなれば 安心でき
 るのか、またそれは どのような ことによって 判断出来るのか。みんなで 考えてい
 なければ なりません。「正しく 安心する」そんな 日も 近いはず です。



じかい ふなはざまくにのりきょういくちょう
 次回は、船迫邦則教育長です。